

実践事例 【小学校】

ひとりひとりが自分らしさを発揮するために

低学年・道徳

1時間

実践のねらい

自分の思いや考えを表現し、それが認められる経験を積み重ねると、子どもたちはのびのびと自分らしさを発揮できるようになる。そのことは、自己肯定感を高め、子どもの意欲を引き出すものとして重要である。本実践では、自分らしさを大切にできる心、友だちのよさを認めることのできる心をはぐくむことをねらいとしている。

自分も友だちも大切にできる心を育てる

低学年では、自分の感じたこと、伝えたいことを一生懸命話そうとする子どもが多い。しかし、自分に自信がもてず、なかなか自分を出せずにいる子どももいる。また、自分のよさに気がつくことができず、自信がないままにいる子どももいる。

このような子どもたちに、自分のよさに気づかせたり、友だちのよさに目をむけ認め合ったりする活動を通して、自分に自信をもたせていきたいと考えている。また、認めてもらったうれしさを感じさせることで、温かい目で友だちを見ることができるようになっていこう。このような活動を通して、自分も友だちも大切にできる心を育てていきたいと考えた。

そこで、本実践では、子どもが学校で取り組んでいる「すてきのはな」を取り上げ、2学期の様子を振り返りながら、一人一人がよさを発揮すること、友だちのよさを認め合うことのよさに気づかせていきたい。

「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」との関連

【関連する条項】

・第9条「自分らしく生きる権利」

・第7条「安心して生きる権利」

本実践では、第9条「自分らしく生きる権利」のうち、(1)「かけがえのない自分を大切にすること」、(2)「個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること」が関連する。個性や他人との違いを自分らしさにとらえ、素直に表現することは素晴らしいというのが、これらの条項の趣旨である。

今回は、まどみちおさんの詩「でてくるちから」を導入教材とした。そして、本校で重点にしている「やさしい心」と「つよい心」につながる子どもたちの行動を記した「すてきのはな」を生かして、子どもの気づきを生み出す授業を考えた。

2学期に取り組んだ「すてきのはな」が、これだけ咲いたのは、一人一人がよさを発揮して頑張ってきたからであり、また、それをお互いに認め合う気持ちがあったからであるということに気づかせ、条例の条項の趣旨に触れていきたいと考えている。

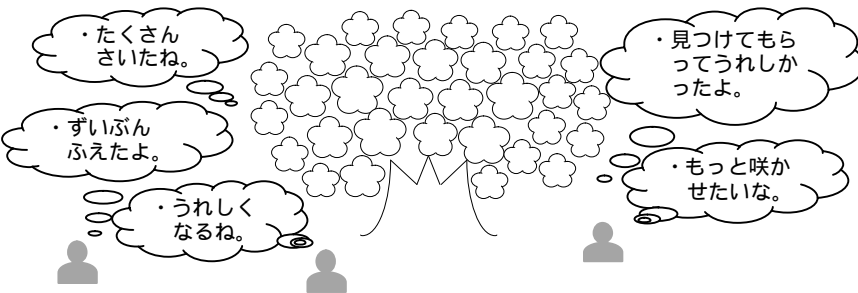
また、第7条「安心して生きる権利」のうち(2)「自分の権利が尊重されるのと同じように、他人の権利を尊重しなければならない」も関連してくるものと考えられる。他者の権利を尊重する態度を育むには、本実践のように他者のよいところを見つけ、認め合う活動を積み重ねていくことが大切である。そうすることで、自分の大切さとともに、他の人の大切さにも気づき、よりよい人間関係を培っていくことのできる子どもたちにしていきたいと考えている。

「すてきの花を さかせよう！」

本時の目標

自分たちの取り組んできた「やさしい心」「つよい心」でさかせた「すてきの花」を見て2学期を振り返ることを通して、一人一人がいろいろなよさを発揮しようとする気持ちや、お互いのよさを認め合う気持ちを大切にしていこうとする態度を養う。

本時の展開

	児童の活動・意識	留意点など
導入	<p>資料「でてくるちから」を読む。</p> <p>どんなところからでてくるちからかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おんぶはやさしい心だね。 ・さかみちのぼるのはつよい心だよ。 ・おかたをたたくのはやさしい心だね。 ・だおるをしぼるのはつよい心のような気もするし、やさしい心のような気もするね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常経験したことを思いださせながら考えさせる。 ・子どもたちがすてきの花に書いた内容を紹介しながら、どんな頑張りがあったか振り返る。 ・一人一人の「やさしい心」「つよい心」を認める。 ・全員で、黒板にすてきの花を掲示しながら、たくさんの花を咲かせたことを実感させる。
展開	<p>みんなは、やさしい心とつよい心でどんなことができたのかな。</p> <p>私は誰でしょうクイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっとそれは、 ちゃんだよ。 ・ を頑張っていたのは、 くんだよ。 <p>1の4の「すてき」に花を咲かせてみよう。(花の掲示)</p>  <p>どうしてこんなに咲かせることができたのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ってみようとした人が多かったからだよ。 ・一人一人がすてきの花を咲かせたかったから。 ・みんなが頑張ったから。 ・助けあったから。 ・すてきの花探しが上手な人がいたから。 	
終末	<p>一人一人がいろいろなよさを出したから咲いたんだ。そして、みんなにはお互いのよさをわかり合おうとする心もあるから、こんなに花が咲いたんだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと花を増やしたいな・・・ ・自分も頑張ってみたいと思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめにつながる、児童の発言を生かす。